

事前評価シート

コード 8-5-3	事務事業名 ひばりが丘駅南口自転車駐車場の整備	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	----------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 通勤・通学等の自転車利用者のための自転車駐車場を整備する。	事業の区分 <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 現在国有地を賃借し自転車駐車場を開設している。ひばりが丘駅南口の他の自転車駐輪場も民地を賃借し運営しているが、市が取得することにより恒久的に安定した整備を実施する。	根拠法令等 西東京市自転車等の放置防止に関する条例
	事業開始時期 平成 19 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 運営日数	活動指標の考え方(定義) 1年間の運営日数
	収容可能台数	全体での収容可能台数
	成果指標名 1次 収容率	成果指標の考え方(定義) 1次 申込見込み率
	1次	1次
	2次	2次
	2次	2次

事務事業データ (平年度・最終年度見込み)		単位	18年度	19年度	20年度	目標	19 年度
	事業費(A)		0	555,894	0		0
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債			422,400			
	その他						
	一般財源				133,494		
	所要人員(B)	人		0.01			
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	82	0		0
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	555,976	0		0
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (収容率)	千円	#DIV/0!	1,523	#DIV/0!		0
	歳入	千円					
	活動指標	日		365			365
	活動指標	台		558,815			558,815
	1次成果指標	%		100			100
1次成果指標							
2次成果指標							

事業環境	事務事業の課題・問題点	現在国有地を賃借し自転車駐車場を開設しているが、国は、市に対して土地の買取りを求められていて、平成18年3月31日に利用要望書(買取)を提出しました。
	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	現在国有地を賃借し自転車駐車場を開設している。 利用状況は、約50%ぐらいです。

コード	事務事業名	所管部課
8-5-3	ひばりヶ丘駅南口自転車駐車場の整備	都市整備部交通計画課
事業所管部評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :法律等で市が実施すべきと定められている。市が主体的に実施すべき事業である。 <input type="checkbox"/> 中 :行政による実施が義務付けられている。市が主体的に実施すべき事業かどうか検討する余地がある。 <input type="checkbox"/> 低 :市の実施が義務付けられておらず、国・都・民間・類似事業などで代替可能であるが、市民要望が強い。 理由: 市内にマンション及び住戸が多数建設され、ひばりヶ丘駅の自転車利用人口の増加が見込まれ、今後益々自転車駐車場の必要性がでてくる。
	緊急性	<input type="checkbox"/> 高 :法律等により実施時期が定められている。または来年度実施しないと事業の意味が失われる。 <input checked="" type="checkbox"/> 中 :来年度の実施が強く求められている。 <input type="checkbox"/> 低 :実施時期を検討する余地がある。 理由: 現在国有地を賃借し自転車駐車場を開設しているが、国は、市に対して土地の買取りを求められていて、賃借の場合は、平成18年度中に返却しなければならない。
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :事業の目的を達成するために必要不可欠である。 <input type="checkbox"/> 中 :事業の目的を達成するために有効である。他の手段・方法を検討する余地はある。 <input type="checkbox"/> 低 :事業の目的を達成するために有効とはいえないが、現状では他の手段・方法がない。 理由: 市の取得により、長期間自転車駐車場として確保できる。
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :投入経費等に見合う実績・成果をあげることが十分に想定される。 <input type="checkbox"/> 中 :投入経費等に見合う実績・成果をあげられる見込みである。 <input type="checkbox"/> 低 :投入経費等に見合う実績・成果をあげられるとは限らないが代替手段がない。 理由: 自転車駐車場を整備することにより、放置自転車等の減少が見込まれる。
事業目標達成時の展望	事業実施プラン(事業の展開内容、 事業費の内訳、 所要人員の考え方、 その他) 現在市内の有料自転車等駐輪場の大半が、賃借されたものなので、所有者の事情(相続等)により、土地の返還を余儀なくされることもあり、自転車駐車場の整備に支障をきたす。 有料自転車等駐輪場の管理・運営は、(財)自転車駐車場整備センターに任せていて、組織が大きいため自転車駐車場に勤務する係員の研修等も充実しており、勤務人員に支障をきたさなく効率が良い。	
(所管部)	財源の確保(新規事業の実施に当たり、見直しを図る既存事業等)	
二次評価	平成20年度に整備予定の亦六地区の自転車駐輪場は1,000台規模を想定しており、現在の利用台数(750台程度)は収容可能と考える。 ひばりヶ丘駅南口の用地購入及び自転車駐輪場の整備について、再検証が必要である。	
行革本部評価	二次評価記載のとおり、亦六地区駐輪場の20年度整備を踏まえると、ひばりヶ丘駅南口の用地購入及び自転車駐輪場整備については、市の財政状況やこれまでの経緯等を踏まえた上で再度検証する必要がある。 当面は、近隣商業ビルの駐輪場の整備動向にも留意しつつ、本事業の計画について十分に検討し、国と協議されたい。	